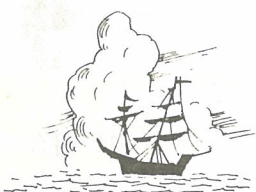


# あたら、き大地



1985年7月号

NO.9



## ” 待望のウッドリーム大阪（木材利用普及研修センター）がオープン”

当団地内に建設を進めていたウッドリーム大阪の完成を記念し、去る6月8日、午後1時から、政、官、業界関係者のほか中国、アメリカの領事など約200名を招いて、開所披露祝賀会が盛大に行われた。



(ウッドリーム大阪 開所式)

式典は新装成ったセンター1階の研修場で行われ、中川理事長の「ウッドリーム大阪」が今後の木材需要開発をはかるため、木材産業振興の拠点として大いに

役立つよう運営していきたい。…」と力強い挨拶があったあと、来賓の方々がそれぞれの立場から開所を祝して祝辞がのべられ、続いてアメリカのウエスタン、フォレストリセンターと姉妹提携の調印がなされ、今後お互いに木材振興のための情報交換を行って行くことが誓い合われた。又同時に、”85国際森林年に因んで大阪府緑化パイロット事業（当木材団地中央通りの緑化事業）の起工のための記念植樹と、木材団地緑の少年団の結団式が併せて行われ多彩な行事が続いた。

式典が終わったあと、特設会場で祝賀パーティが行われ、席上来賓の中華人民共和国の鄭国仕領事やアメリカのピーターS、ガジンスキー副領事などの挨拶が交され、国際色豊かな雰囲気のもとでなごやかな祝宴となり、最後にウッドリーム大阪の将来に木材需要開発に大いなる夢を託して万歳三唱の音頭で閉会となった。

なお、このウッドリーム大阪は木材情報の集積拠点として建築業者、設計業者等に木材関連の情報提供や研修などを通じて木材需要の拡大をはかり、また一般消費者への木材知識吸収の場として設置されたもので、今後各方面から多数の利用者の来場が期待されている。そこで組合員の皆様もウッドリーム大阪の施設を積極的に活用していただき、できるだけ多くの方々に利用してもらおうよう、十分なPRをお願いしたいところです。

## 第23期通常総会を開催

当組合の第23期通常総会が去る5月28日、大阪市南区の「ホリディイン南海」で開かれました。

今回の総会では決算、予算承認のほか「ウッドリーム大阪」の運営計画をはじめ、簡易郵便局の設置と運営、組合遊休土地(Aグランド)の利用、組合役員の改選など多彩豊富な議案の審議が行われました。



(第23期通常総会)

総会が終わった後、懇親会が行われ、席上今回新たに組合加入された東部木材欄の紹介があったのち、「ウッドリーム大阪」シンボルマークの入選者表彰が行われ採用された井上香織氏(欄電産)ほか3名が全員による盛大な祝福を受けた。

なお、総会で決議された議案の内容は次のとおり。

**第1号議案** 昭和59年度事業報告並びに決算報告について  
(「昭和60年度通常総会資料」を参照)

**第2号議案** 金融事業の利用分量配当について  
昭和59年度の金融事業利益に対し、受取利息の2%を利用分量配当することにした。

**第3号議案** 昭和60年度事業計画案について

- 1、ウッドリーム大阪の運営計画  
ウッドリーム大阪を木材需要の開発、組合員事業の知識集約化をはかるための情報サービス、木材製品の展示、研究などの拠点として運営する。
- 2、団地内街路緑化事業  
今年度は中央道路(組合会館～欄竹中工務店)沿線(両側約1,200m)の緑化(植樹)事業を行う。
- 3、木乾工場内敷地の整備舗装  
木乾工場内の未利用地(約400坪)を整地舗装をし天乾場所に使用する。
- 4、簡易郵便局の設置と運営  
組合員をはじめ団地内の事業所、地区住民などの利便に供する簡易郵便局を、組合会館に隣接して設置し、組合の管轄業務として、来る9月1日に「木材団地簡易郵便局」として開局予定。
- 5、組合会館南側敷地を駐車場にするための整地舗装  
該当地を整地舗装し、ウッドリーム等の駐車場にする。  
詳細は「団地内のうごき」を参照
- 6、団地内道路の改修工事  
本年度は工場用地440m、住宅用地614mの道路改修舗装工事を行う。
- 7、貯木池周辺土地の造成  
貯木池周辺地(約540坪)を造成整備し、組合員の事業施設に利用する。



- 8、組合所有地の土地利用料値上げ  
組合員に対する土地利用料を固定資産税のアップ率20%に相当する現行300円(月額坪当り)を360円とする。
- 9、組合遊休土地(Aグランド)の賃貸  
Aグランドの土地(1,661坪)をDIY店とし、欄ジョイフル朝日に賃貸、組合の財政基盤の強化に役立てる。
- 10、木栄会の事業計画  
組合員の交流を密にし、相互間の取り引き活動推進等のために、木栄会の事業を積極的に進め、特にウッドリーム大阪をおおいに活用する。
- 11、住宅地の分譲  
59年度に造成した住宅用地26区画のうち、既に分譲した14区画を除いた残り12区画について、組合員向けに分譲する。

**第4号議案** 昭和60年度収支予算案について  
(「昭和60年度通常総会資料」を参照)

**第5号議案** 昭和60年度賦課金の賦課額及びその徴収方法について  
昨年同様

**第6号議案** 組合借入金の最高限度額の決定について  
昨年同様30億円

**第7号議案** 組合員に対する貸付金の最高限度額の決定について  
昨年同様4億8千万円

**第8号議案** 定款の一部変更について  
組合事務局の仕事が増加し、組合業務が機動的に運営できるよう常務理事を1名増加するための定款の一部を変更する。

**第9号議案** 組合役員の改選について  
本組合の理事及び監事全員任期満了につき、又組合員数が増加し(45社から50社)組合運営を円滑に行うため理事13名を15名に変更した。  
なお新役員の陣容は次の通り。(敬称略)

|      |                                       |                                 |
|------|---------------------------------------|---------------------------------|
| 理事長  | 中川 藤一                                 |                                 |
| 副理事長 | 成瀬 良彦、<br>磯口 清、                       | 橋本 禎夫<br>西野 棟雄                  |
| 常務理事 | 村上 勝一、                                | 吉村 謙一                           |
| 理事   | 貝本富之輔、<br>田中 繁男、<br>和 中 禎造、<br>松尾 正敏、 | 浅野 寛<br>中村 暢秀<br>笠井 文雄<br>橋本 健介 |
| 監事   | 井戸 淳次、                                | 豊岡 衛                            |



## 《組合員企業の紹介シリーズ》『うちの会社』

【その9】 **菊水株式会社** 社長 笠井 文雄



当社は、昭和30年4月、大阪市西区南堀江に菊水ベニヤ(株)として設立。昭和43年8月、大阪木材工場団地に菊水美原工場建設、同年9月よりオリジナルプリント合板「ハイデルウッド」の生産を開始しました。当工場は壁面プリント合板が主力でしたが、昭和53年より家具、木工関係の需要に応えるため、家具建具用プリント・カラー合板の生産にも力を入れ、厨房、学童デスク、食器棚、書棚、フラッシュドア等、多数使用していただいています。

又当社は住宅資材の代理店として、各メーカーの合板建材・住宅機器・石膏ボード・収納壁・プラスチック建材・外装材等の商品を東京、大阪、美原、明石、和歌山の各支店を通し、販売をしております。

経営方針は 1、使命の自覚 1、個人の充実 1、責任の遂行 1、礼儀と規律の厳正 1、団結の強化を菊水五心として掲げ、社会に貢献する企業になるよう頑張っています。

## ”木栄会”だより



去る6月14日(金)午後5時より組合会館2階大会議室において、第2回木栄会通常総会が行われました。出席者29名、委任状による出席34名のもとで木栄会々則第17条に基づき

第1号議案 昭和59年度事業報告収支決算報告

第2号議案 昭和60年度事業計画(案)、収支予算(案)、会費徴収方法(案)

が夫々審議され承認可決されました。

総会終了後、懇親会が行われ、新たに加わられた東部木材(株)を最初に各社の自己紹介パーティーと続きコンパニオン5名が華を供えながらカラオケ、ダンス、etcと日頃の煩雑さを忘れ初夏の夜の一時を過ごしました。おわりに、会員同志の一致協力と親睦を誓い『木栄会』の今後ますますの発展を期して、浦本研修委員長の三本締で閉会されました。

## 【団地内のうごき】



### ★ 組合会館南側用地に駐車場を設置

「ウッドリーム大阪」の開設、既存組合駐車場の狭あい化等に伴い、組合会館南側用地約400坪を整地し約80台収容の駐車場を完備しました。「ウッドリーム大阪」への来館、組合へおこしの際にもご利用下さい。

### ★ 団地内の道路工事について

昭和60年度事業として現在美原町が事業主体となり工場用地内道路〔共立木材(株)前より大弘産業(株)前まで〕延長440mの改修と住宅地〔309号線歩道橋前より汚水処理ポンプ場前まで〕延長614mの道路を夫々舗装改修工事中です。完成は7月末の予定で工事期間中は何かとご不便をおかけしますが何卒ご容赦ください。

## 【木青会館の竣工について】

地域振興の一環として地区住民センターの木青会館が木材団地地区と当組合との協同で建設され、去る5月15日に完成しました。(木造平屋建延面積132.25㎡)5月21日に竣工式が行われ、美原町長、町会議長、地元議員のほか組合役員の方々の出席のもとに会館竣工の祝福がなされました。

なお、この会館は地区住民及び木材団地組合組合員の方々の集会等に利用できることになっておりますので精々ご利用下さい。



(完成した木青会館)

## 【木材の知識】…その1

### “木と健康・5つの柱”

(林野庁林産課) (ウッドリーム大阪)

1. じめじめ、カラカラを調節する  
木造の家の柱1本でビールビン3本の水を吸収したり放出します。  
(木材はその重量の12~15%位の水分を含み、空中湿度に応じて30%位まで水分を吸収、放出する)
2. 暑さ寒さの調節もする  
木造の家は夏は涼しく冬は暖かくすごすことができます。  
(木造はコンクリートに比べて15~20倍も熱を伝えにくい性質がある)
3. 子供のゼンソクが少ない  
木造の家は鉄筋コンクリートの家よりダニの発生が少ないのです。  
(家に発生するダニは、ゼンソク、鼻炎などアレルギー性疾患を子供に誘発しやすい)
4. 適度な弾力性がある  
木の床は足にかかる力をやわらげるためケガなどが少ないのです。  
(木の床は、プラスチックの床よりおよそ2倍位の衝撃を吸収する)
5. 光を分散したり吸収する  
木材は光をやわらげ目の疲れを防ぎ人の心をなごませます。  
(木材は直射光を乱反射させて光を和らげ、目に悪い紫外線を吸収する)

## 『ちょっと一言』

…すばらしい姿…

浅野木材(株) 浅野 寛



大阪木材工場団地が日本を代表する木材団地として自他共に許して恥ないすばらしい姿に成長しております事を衷心より祝福するものであります。ここに至るまでの道のりは言葉には表わし得ない苦難の連続であったと思います。初代 西野理事長、並に現 中川理事長及びその間の各役員の方々の血のにじむようなご努力とご尽力の賜に対して心から満腔の敬意を表わすものであります。

殊にこのたび竣工しました“ウッドリーム大阪”に対しては正に感激と歓喜を禁じ得ないのであります。中川理事長の卓越した独創力と非凡な指導力 並びに役員各位、従業員そして会員の方々全員の温かいご協力の結晶であったと信じております。近代木造建築物として日本を代表する傑作の1つであると思っております。今日までのご苦勞を礎にして今後とも、従来同様、中川理事長を中心に全員協力一致してこのすばらしい“ウッドリーム大阪”の姿にふさわしい運営が続けられますように念願してやまない次第であります。

谷を渡り、丘陵の嶺を歩き廻った1/4世紀昔の状態からの様変わりを想起して感慨無量の念一入なるものを覚える一人であります。よくぞこの様な立派な木材団地にしていただいた皆様に改めて感謝を申し上げて筆をおきます。

### 【ウッドリーム大阪のマーク及びロゴの紹介】



採用された応募作品

井上 香織 氏 (株)電産



クリエイティブ、ディレクター  
吉羽 敏郎 氏による作品

### 【編集メモ】



今回はウッドリーム大阪の開所式、組合通常総会に関するニュースを中心に2項増やしてお届けしました。通常総会における多彩豊富な議案は当組合のますますの多様化、活性化を象徴し、またウッドリーム大阪の完成により組合員企業はもちろん木材業界全体の将来に大きな夢と希望が広がったことと思います。

なお今回より皆様に少しでもお役にたてばと「木材の知識」コーナーを設けました。ご参考になれば幸いです。

### 企業を守る損害保険のことなら

(株)大阪木材団地サービスへ

各種 火災、自動車、傷害保険を取り扱っております。

南河内郡美原町菅生 688-106 大阪木材工場団地協同組合内 ☎ 0723-61-2670